

城北アスカ3年ぶり



フェアプレー杯

第30回ハトマークフェア

プレーカップ東京都少年
年ジュニアサッカー大会
(東京都サッカー協会
4年生以下)の第6回
同少年サッカー連盟主催
ロックンロード(板橋、北
文京、豊島、中野)は28
日、北区の浮間子どもス
ポーツ広場サッカー場で
決勝戦を行った。決勝
は城北アスカ(北)がコ
アソシ(北)を破り3
年ぶりの優勝、3位決定
戦はC熊野(板橋)が
制した。

4発、攻守で圧倒

豪快な一撃で主導権を奪いかえた城北アスカが雨中の決勝を制した。小村闘斗が準千金の逆転ゴール。試合直前に「楽しんでやろうぜ」とチームを鼓舞した主将が、鋭い弾道のロングシュートをたたき込んだ。

「ずっと狙っていたの
で思い切リシュートを打
ちました。スーパースト
ルでチームに活力を与え
た小村君は、足踏ん、フ
ツツチのゴールにしてや
ったりの笑み。一方で、
あのゴールは自分だけ
のものじゃない。みんな
で奪ったチームです」と
と強調したチーム一丸で
の勝利に胸張った。

逆転した勢いで後半に
陣内テスカは攻守でコ
アラを圧倒、6年連続で
決勝に進出している強豪
と強調したチーム一丸で
の勝利に胸張った。



常勝チームが飛ぶ鳥を落とす

3年ぶりの優勝に沸く城北アスカ=北区の浮間子どもスポーツ広場サッカー場で

●決勝(20日・浮間子ども
スポーツ広場サッカー場)
城北アスカ(220)1ゴール
得点者 闘斗 出川 小村 闘斗
2(2) 大和田

サッカーを展開する要因
となったのが、スコアレ
スで迎えたPK戦で勝利
した準々決勝のソレレユ
SS戦だった。

「何点取られてもいい
から点を取る姿勢をみせ
よう」。諸岡恒平担当コ
ーチが選手にほめた攻
撃サッカーで、準決勝の
リオFC戦は5-0の快
勝。指揮官の傲(けき)
で目を覚ましたチーム
は、後手に回った決勝も

ゴールを奪えず逆転負
け。悔しさが残る横内輝
キヤテンは「相手のフ
レッシュがきつくてワ
リだった。3年ぶりの頂点に諸岡
コーチは「素晴らしい試
合でした。久しぶりに優
勝できてよかったです」と
と満面の笑み。ピッチで
躍動した選手に賛辞を惜
しなかった。次のステ
ージは都中央大会。常勝
軍団のさらなる大躍進に
期待大だ。

◆FINISH
都大会で雪辱だ

「コアソシは被に乗り
きれなかった。大和田省
吾君の先制ゴールで主導
権を握ったが、その後は



コーチと優勝を喜ぶ城北アスカの選手

▽優勝監督(後のセー
マ山田)と選手(前年の同点
で勝利を逃した)。目玉の
闘斗「みんなが焦っていた
けど、貴重なゴールを奪
った。貴重なゴールを奪
った。貴重なゴールを奪
った。」

写真お分けします

みんなのスポーツに掲載された写真を有料でお分けします。申し込みは東京新聞お客さまセンターまで(日・祝は休み)。

☎03(6910)2557
FAX03(3580)7277

楽しい思い出をアルバムに

FINAL

▽先制点を決めた大和田省吾君「もっとゴールを決めたかった。都中央大会ではアスカより上の順位にいたい」

意地見せた3位

FC熊野

▽3位決定戦

FC熊野10―2リオFC
前年覇者が意地をみせた。FC熊野は2点リートから試合を振り出しに戻されると覺せい。前半終了直前に勝ち越すと、後半6ゴールの大爆発を演じた。準決勝のコアラ



3位決定戦で対戦したFC熊野(白)とリオFC(黄)



▽準決勝

コアラSC6―0FC熊野
城北アスカ5―0リオFC

(板橋)

戦は0―6の大敗を喫したが、そのろっぶんを爽快(そうかい)なゴールラッシュで晴らした。

一方、リオFCは何度も好機を作った前半から後半は一転。相手の猛攻を防ぐ

のに精いっぱい本来の攻撃力を発揮しきれなかった。

激しく競り合う城北アスカとコアラSCの選手